

一般廃棄物処理施設整備・運営事業者選定アドバイザー業務委託に係る
応募型プロポーザル審査結果報告書

令和 2年 5月

一般廃棄物処理施設整備・運営事業者選定アドバイザー業務委託
受託予定者選定委員会

目次

1	審査の進め方	1
(1)	審査方式	1
(2)	プロポーザル選定委員会	1
(3)	選定経過	1
(4)	審査の方法	2
2	審査の結果	3
(1)	第1次審査	3
(2)	第2次審査	3
3	総評	4

1 審査の進め方

(1) 審査方式

能代山本広域市町村圏組合では、新たな一般廃棄物処理施設（エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設の併設施設）の整備・運営事業を事業者が一括して受託するDBO方式で実施する計画です。

「一般廃棄物処理施設整備・運営事業者選定アドバイザー業務委託」（以下、「本業務」という。）は、施設整備計画等の策定、DBO方式で実施する場合の諸手続きに必要な資料の作成及び支援を目的としています。

業務の実施にあたっては、高度な技術力、専門性、独創性、企画力及び経験実績が必要とされることから、本業務を委託するのに最も適した者を特定するため、応募型プロポーザル方式を採用しました。

(2) プロポーザル選定委員会

本業務の受託予定者の選定に際しては、厳正かつ公平に行うため、選定委員会を設置しました。選定委員会は、提出された提案書について審査を行い、最優秀提案者の特定を行いました。

選定委員会の構成員は、以下のとおりです。

【プロポーザル選定委員会】

委員長	今井一晴	能代山本広域市町村圏組合事務局長
委員	有山勇	能代市環境衛生課長
委員	村岡徳一	藤里町生活環境課長
委員	荒川浩幸	三種町町民生活課長
委員	和平勇人	八峰町総務課長

(3) 選定経過

本業務受託予定者の選定に係る経過は、以下のとおりです。

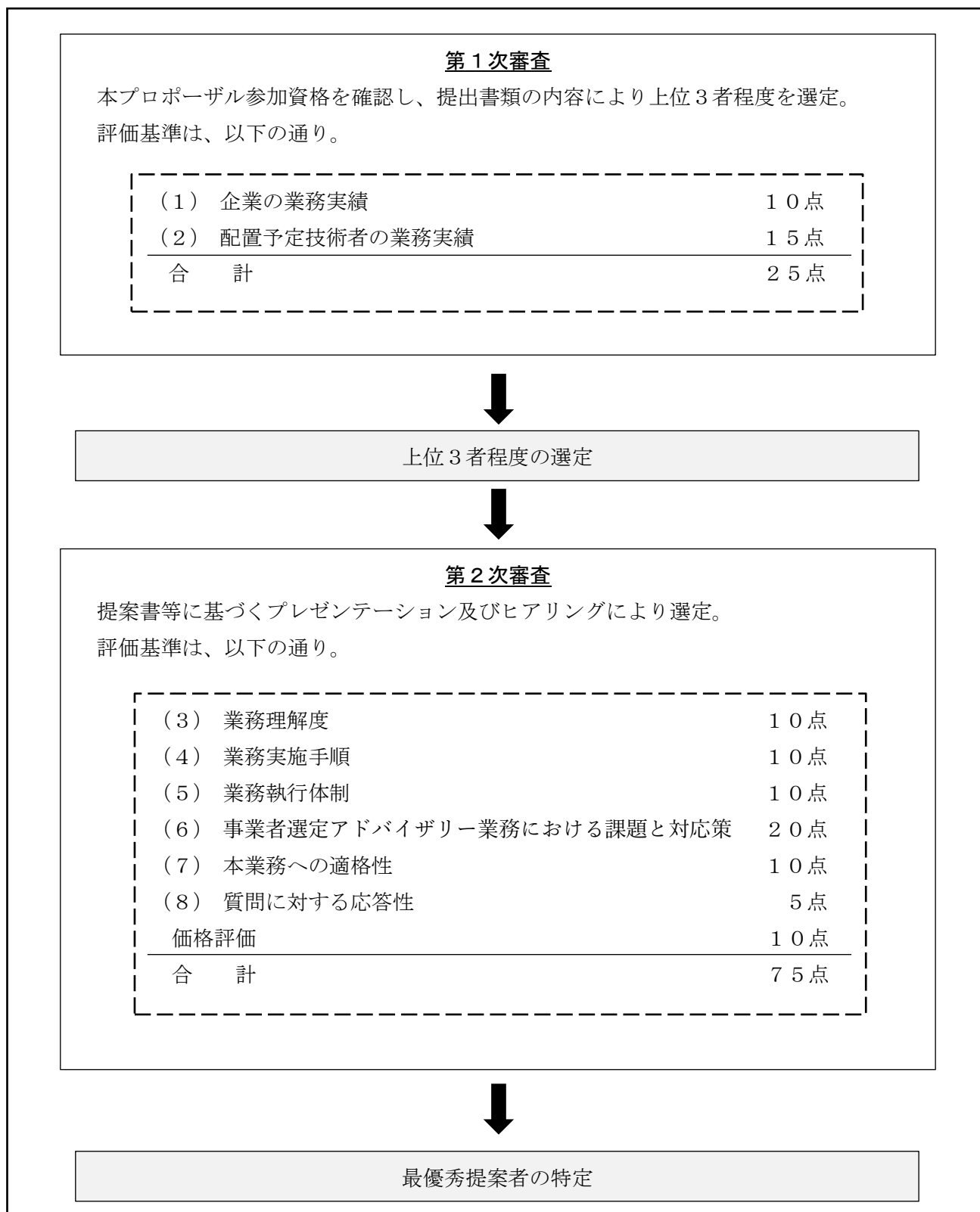
	内容	日程
1	第1回選定委員会	令和 2年 4月16日 (木)
2	プロポーザル実施の公告	令和 2年 4月17日 (金)
3	質問の受付期限	令和 2年 4月22日 (水)
4	参加表明書等の提出期限	令和 2年 4月27日 (月)
5	第1次審査の実施	令和 2年 4月28日 (火)
6	第2回選定委員会	令和 2年 4月28日 (火)
7	第1次審査結果通知	令和 2年 4月30日 (木)
8	提案書等の提出期限	令和 2年 5月15日 (金)
9	第2次審査の実施	令和 2年 5月19日 (火)
10	第3回選定委員会	令和 2年 5月19日 (火)
11	第2次審査の結果公表	令和 2年 5月22日 (金)

(4) 審査の方法

選定委員会による審査は、第1次審査と第2次審査に分けて実施しました。

なお、公告に基づく審査の流れは、以下の通りです。

【審査の流れ】



2 審査の結果

(1) 第1次審査

第1次審査については、2者から応募があり、全ての応募者が募集要項に示す参加資格を有していることを確認しました。また、各応募者から提出された書類の内容をもとに、募集要項に示すプロポーザル評価基準に沿って委員会が採点しました。

なお、応募者が2者であったため、全ての者を第2次審査対象者として選定しました。

(点)

評価項目		配点	応募事業者	
			八千代エンジニアリング株式会社 北日本支店	A者
企業評価	業務実績	10	10.0	6.0
技術者評価	業務実績	15	15.0	10.0
合 計		25	25.0	16.0

(2) 第2次審査

第1次審査を通過した2者に対し、第2次審査を行いました。第2次審査では提案書等に基づく20分以内のプレゼンテーション及び15分程度のヒアリングを行い、募集要項に示すプロポーザル評価基準に沿って委員会で評価・採点し、点数を合算しました。採点の結果「八千代エンジニアリング株式会社北日本支店」を最優秀提案者として特定しました。なお、合計点については、小数点以下を四捨五入しました。

(点)

評価項目		配点	応募事業者	
			八千代エンジニアリング株式会社 北日本支店	A者
第1次審査結果		25	25.0	16.0
技術提案	業務理解度	10	9.2	8.4
	実施手順	10	9.2	7.6
	業務執行体制	10	8.4	8.0
	事業者選定アドバイザー 業務における課題と対応策	20	17.6	14.4
ヒアリング	本業務への適格性	10	9.6	8.0
	質問に対する応答性	5	4.2	3.8
価格評価		10	9.4	10.0
合 計		100	93	76

3 総評

令和2年4月17日付、能代山本広域市町村圏組合公告第8号で公告した「一般廃棄物処理施設整備・運営事業者選定アドバイザー業務委託に関わる応募型プロポーザル」について、2者から参加表明書の提出を受けました。

審査にあたっては、選定委員会で定めたプロポーザル評価基準に基づき、第1次審査及び第2次審査において、厳正かつ公平に審査を行いました。

その結果2者の中から、「八千代エンジニアリング株式会社北日本支店」を最優秀提案者として特定しました。

「八千代エンジニアリング株式会社北日本支店」及びA者のいずれの参加者も、独自のノウハウや技術が盛り込まれており、本事業の目的や各業務の内容について本組合が要求する水準を上回る提案内容であり、それぞれに工夫がみられ甲乙つけがたく、企業及び技術者評価、価格評価を加味して総合的に判断し、最優秀提案者を特定しました。

審査においては、業務の理解度、課題解決能力、提案能力等を総合的に判断し選定を行いました。技術提案書の評価にあたっては、当組合の現状、施設整備における課題を的確に把握しているか、提案内容の実施体制に具体性や実現性があるか、課題解決のための高度な検討・解析手法の提案があるかなどに着目をしました。

特に、最優秀提案者である「八千代エンジニアリング株式会社北日本支店」は、企画提案において、廃棄物事業特有の課題やPFI方式特有の課題について具体的に示されており、また、それに対する対応策が明確であることや、当建設地における現状を認識した上で、今後よりよい事業推進のために検討すべき事項が具体的に提案されていることといった提案内容が高く評価されました。

一般廃棄物処理施設整備事業は、構成市町にとって20年から30年に一度の一大プロジェクトであり、本業務が果たす役割はとて大きいものです。

本審査は、一般廃棄物処理施設整備・運営事業者選定アドバイザー業務に精通し、かつ効率的に業務の遂行ができ得るコンサルタントを選定することを目的としていることから、最優秀提案者である

「八千代エンジニアリング株式会社北日本支店」には、今回挙げられた技術提案事項のみに対応するだけでなく、一般廃棄物処理行政全体を円滑に遂行する観点から、高度な技術力、専門性、独創性、企画力及び経験実績を活かし、本業務を遂行することを期待します。

最後に、本件プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた関係各社に心より感謝いたします。

令和2年5月19日

選定委員会

委員長 今井 一 晴